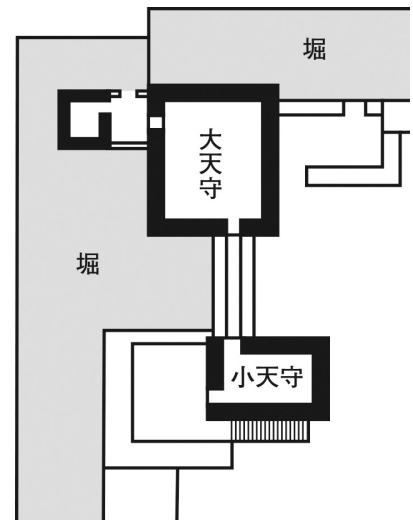


名古屋城検定 過去問題 中級

Q1. 徳川家康は側近の中井大和守正清を大工棟梁に任命し、天守の設計にあたらせました。設計は、第5次計画まであったとされています。

右の図は、「なこや御城惣指図（模式図）」です。

この図は、第1次計画から第4次計画の内のどれでしょう。



- ① 第1次計画
- ② 第2次計画
- ③ 第3次計画
- ④ 第4次計画

Q2. 慶長15（1610）年、名古屋城の石垣普請が終わり、2年後の慶長17（1612）年12月には、5重5階、地下1階の大天守が完成しました。

創建時の大天守について述べた文で、正しいものを選びましょう。

- ① 大天守の屋根は、初重から4重まで銅瓦が葺かれていた。
- ② 大天守の1階には、黄金水と言われる井戸が掘られていた。
- ③ 大天守の東西の面は、4重目の屋根に唐破風が一つずつ付けられていた。
- ④ 大天守の地階は、金蔵、穴蔵、米蔵などに分かれていた。

Q3. 本丸御殿の各部屋は、部屋ごとに異なる画題で描かれた絢爛豪華な障壁画で飾られていました。

次の画題が描かれている場所で、正しいものはどれでしょう。

- ① 「風俗図 [綱引・見世物]」 → 対面所 次之間東側戸襖絵
- ② 「桜花雉子図」 → 表書院 二之間東側襖絵
- ③ 「枝垂桜図」 → 御湯殿書院 一之間東側戸襖絵
- ④ 「七宝唐草文図」 → 上洛殿 二之間天井板絵

Q4. 明治に入ると二之丸は、陸軍の施設が建てられ、二之丸庭園も大幅に改造されました。昭和34年に、空襲で焼失した天守が再建されると、二之丸庭園の整備にも目が向けられるようになりました。

二之丸庭園が整備されていく様子を、年代の古い順に並べたものはどれでしょう。

アー「二之丸東庭園」が開園される。

イー二之丸庭園が文部省から「名勝」の指定を受ける。

ウー「二の丸茶亭」が開所し、金の茶釜が披露される。

エー「名勝二之丸庭園」として公開される。

① イーエーウーア

② エーイーアーウ

③ イーエーアーウ

④ エーイーウーア

Q5. 右の写真は、明治11年に尾張徳川家14代当主慶勝とそ

の弟たちを撮影したものです。右から徳川慶勝、徳川茂栄

(茂徳)、松平容保、松平定敬です。

幕末に弟たちがそれぞれ継いだ家名で正しい組み合わせはどれでしょう。



(徳川林政史研究所蔵)

① 茂栄（茂徳）→一橋徳川家、容保→桑名松平家、定敬→会津松平家

② 茂栄（茂徳）→一橋徳川家、容保→会津松平家、定敬→桑名松平家

③ 茂栄（茂徳）→紀伊徳川家、容保→会津松平家、定敬→桑名松平家

④ 茂栄（茂徳）→紀伊徳川家、容保→桑名松平家、定敬→会津松平家